

# 中国語の dou 量化の認可条件

王 慶

(九州大学)

oukei@lit.kyushu-u.ac.jp

キーワード : dou 量化, 主題 DP, 主語 DP, 認可

## 1. はじめに

中国語の dou(都)は, 何らかの名詞句  $\alpha$  を制限領域とする全称量化の解釈を導く場合がある。以下では, これを「dou 量化」もしくは, 「dou が  $\alpha$  を量化する」と表現することにする。dou 量化は, dou と  $\alpha$  の統語関係によって制限を受ける。その制限は, Lee (1986), Cheng (1995), Huang (1996), 黄(2004)などで分析されてきたが, 本論文では, Hsu (2010)の主張を再構成して紹介した上で, その問題点を指摘したい。以下の例文では, dou によって量化される DP を下線で表示する。

## 2. Hsu (2010)の観察

### 2.1. 観察 1: 主語 DP と主題 DP は dou による量化可能性が異なる

まず, 主題がない文の場合, dou が主文にあると, 主語 DP が dou によって量化できるのに対して, dou が埋め込み文にあると, 主語 DP が dou によって量化できない。

(1) a. 那五个 学生 都 以为 [小明 认识 他] 。 [Hsu (2010): p.162, (1)]

あの五人 学生 DOU 思う 小明 知る 彼

'あの五人の学生はみんな小明が彼のことを知っていると思っている。'

b. \*那五个 学生 以为 [小明 都 认识 他] 。

あの五人 学生 思う 小明 DOU 知る 彼

つまり, 主語 DP 「那五个学生」は, (1a)のように, dou の働きによって「あの五人の学生がそれぞれ」という解釈ができるのに対して, (1b)では, それができない。

これに対して、主題文の場合、(2)のように、*dou* が主文にあっても、埋め込み文にあっても、*dou* は、主題 DP「那五个学生」を量化することができる。

(2) a. 那五个 学生, 他 都 以为 [小明 认识 *e*]。 [Hsu (2010): p.162, (2)]

あの五人 学生 彼 DOU 思う 小明 知る

'あの五人の学生は、彼は、みんな小明が知っていると思っている。'

b. 那五个 学生, 他 以为 [小明 都 认识 *e*]。

あの五人 学生 彼 思う 小明 DOU 知る

'あの五人の学生は、彼は、小明がみんな知っていると思っている。'

また、主題 DP と主語 DP の両方がある文では、どちらも *dou* による量化が可能である。

(3) 那五本 书, 这三个 学生 都 买了。<sup>1</sup> [Hsu (2010): p.162, (3)]

あの五冊 本 この三人 学生 DOU 買う Asp

i. 'あの五冊の本は、この三人の学生がそれぞれ買ったものだ (全部で5冊)。'

ii. 'あの五冊の本を、この三人の学生がそれぞれ買った (全部で15冊)。'

## 2.2. 観察 2: 主語 DP の *dou* 量化が付加詞と助動詞によって阻止される

次に、(4)のように、主語 DP と *dou* の間に付加詞と助動詞が挟まれると、主語 DP が *dou* によって量化されなくなるが、(5)のように、*dou* と述語の間に付加詞と助動詞が生起すると、主語 DP が *dou* によって量化されうる。以下では、付加詞や助動詞を網掛けで表示する。

(4) 那五本 书, 这三个 学生 会 [替 小明] 都 买。[Hsu (2010): p.163, (4a)]

あの五冊 本 この三人 学生 Asp 小明のために DOU 買う

i. 'あの五冊の本は、この三人の学生が、小明のために、全部買うだろう。'

ii. '\*あの五冊の本は、これらの学生三人とも、小明のために、買うだろう。'

(5) 那五本 书, 这三个 学生 都 会 [替 小明] 买。[Hsu (2010): p.163, (4b)]

あの五冊 本 この三人 学生 DOU Asp 小明のために 買う

---

<sup>1</sup> Hsu (2010)では、主題DPと主語DPの両方に下線が引かれているが、両方が同時に*dou*量化に関わっているという誤解を避けるため、ここでは、下線をつけないことにする。

- i. '??あの五冊の本は、この三人の学生が小明のために全部買うだろう。'<sup>2</sup>
- ii. 'あの五冊の本は、これらの学生三人とも、小明のために買うだろう。'

このように、主語 DP の dou の量化が付加詞と助動詞によって阻止されてしまう、いわゆる阻止効果(blocking effect)があると Hsu (2010)は指摘している。

### 2.3. 観察 3: 助動詞 hui(会)の能力解釈が dou によって阻止される

阻止効果は、助動詞 hui(会)と dou が共起する場合にも見られる。hui(会)には、可能性解釈と能力解釈の 2 種類がある。

- (6) 那五个 学生 都 会 游泳 。 [Hsu (2010): p.173, (32a)]  
 あの五人 学生 DOU Asp/できる 泳ぐ

- i. 'あの五人の学生はみんな泳ぐだろう。' (可能性解釈)
- ii. 'あの五人の学生はみんな水泳ができる。' (能力解釈)

- (7) 那五个 学生 会 都 游泳 。 [Hsu (2010): p.173, (32b)]  
 あの五人 学生 Asp/できる DOU 泳ぐ

- i. 'あの五人の学生はみんな泳ぐだろう。' (可能性解釈)
- ii. '\*あの五人の学生はみんな水泳ができる。' (能力解釈)

hui(会)は、(6)のように、dou と述語の間に生起すると、2 種類の解釈ができるが、(7)のように、主語 DP と dou の間に生起すると、能力(ability)解釈が阻止される。

### 2.4. 観察 4: ba 構文に阻止効果が見られる

また、中国語の ba(把)構文にも、阻止効果が見られる。

- (8) a. 这六个 老师 都 [把 他 的 一 本 书] 给 了 小 明 。  
 この六人 先生 DOU BA 彼 de 一冊 本 あげる Asp 小明

'この六人の先生は、みんな彼の本を一冊小明にあげた。'

- b. \*这六个 老师 [把 他 的 一 本 书] 都 给 了 小 明 。

<sup>2</sup> この例は、Hsu (2010)の提案でも説明でき、また中国語話者数名に確認したところ、容認可能な例なので、「??」は誤植の可能性はある。

[Hsu (2010): p.174, (36)]

(8b)のように、ba(把)句が主語 DP と dou の間に生起すると、主語 DP 「这六个老师」の dou による量化ができなくなる。一方、bei(被)構文には、このような阻止効果が見られない。

(9) a. 那些 城市 都 [被 洪水] 淹没了。 [Hsu (2010): p.175, (37)]

あれら 町 DOU BEI 洪水 水没 Asp

'あれらの町は、みな洪水によって水没した。'

b. 那些 城市 [被 洪水] 都 淹没了。

あれら 町 BEI 洪水 DOU 水没 Asp

'あれらの町は、洪水によってみな水没した。'

### 3. Hsu (2010)の分析

以上のような観察を、Hsu (2010)は、(10)の認可条件を立てて説明している。

(10) Licensing condition on *dou*-quantification : [Hsu (2010): p.167, (17)]

*dou*-quantification of  $\alpha$  is possible iff the chain  $\langle \alpha_i, dou_i, e_i \rangle$  is formed, in which  $\alpha$  binds *dou* and *dou* binds the  $\theta$  position of  $\alpha$ .

(10)の認可条件を図式化すると、(11)のようになる。

(11) [  $\alpha_i$  *dou*<sub>i</sub>  $e_i$  ] (assuming an empty category *e* in  $\theta$  position)

[Hsu (2010): p.167, (18)]

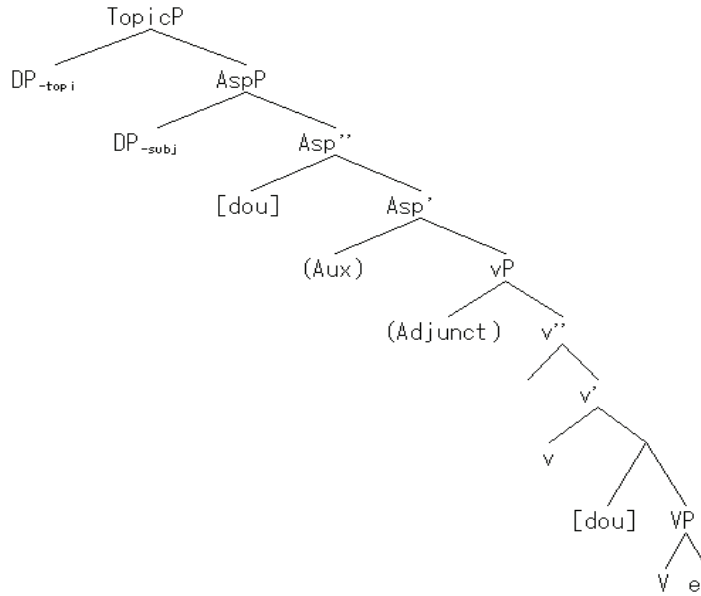
(10)は、二つの部分に分けられる。つまり、*dou* が  $\alpha$  を量化するには、(i)  $\alpha$  が *dou* を c-command しなければならず、(ii) *dou* が  $\alpha$  の  $\theta$ -position を c-command しなければならない。以下、2 節で紹介した観察がこの認可条件によってどのように説明されているかを示す。

#### 3.1. 観察1の分析

Hsu (2010)は、Huang (1982)とAoun and Li (1993)のvP internal subject仮説を支持し、中国語の*dou*構文は、(12)の構造になっていると仮定している。

- (12) a. [TopicP DP<sub>-topi</sub> [AspP DP<sub>-subj</sub> <dou> [Asp(Aux) [vP (Adjunct) [vP <dou> [vP e<sub>i</sub>]]]]]]]  
 [Hsu (2010): p.164, (7)]

b. LF :



Hsu (2010)では、(1)~(3)についての明示的な説明がないが、(12)の構造を仮定すると、次のように説明できる。

- (13) 那五个学生 都 e<sub>i</sub> 以为 [小明 认识 他]。 cf.(1a)  
 あの五人 学生 DOU 思う 小明 知る 彼

'あの五人の学生はみんな小明が彼のことを知っていると思っている。'

(13)では、主語 DP「那五个学生」が dou を c-command し、dou が主語 DP の θ-position を c-command しているため、(10)の条件が満たされて、容認可能になる。

- (14) \*那五个学生<sub>i</sub> e<sub>i</sub> 以为 [小明 都 认识 他]。 cf.(1b)  
 あの五人 学生 思う 小明 DOU 知る 彼

これに対して、(14)のほうでは、主語 DP の「那五个学生」は、dou を c-command しているが、dou が主語 DP の θ-position を c-command していないため、(10)の違反となり、dou 量化ができなくなる。

- (2) a. 那五个学生<sub>i</sub>, 他 **都** 以为 [小明 认识  $e_i$ ] 。 [Hsu (2010): p.162, (2)]  
 あの五人 学生 彼 DOU 思う 小明 知る

'あの五人の学生は、彼は、みんな小明が知っていると思っている。'

- b. 那五个学生<sub>i</sub>, 他 以为 [小明 **都** 认识  $e_i$ ] 。  
 あの五人 学生 彼 思う 小明 DOU 知る

'あの五人の学生は、彼は、小明がみんな知っていると思っている。'

(2)の場合、a も b も(10)を満たしているため、容認可能である。同様に(15)も(16)も(10)を満たしているため、dou 量化が成立する。

- (15) 那五本书<sub>j</sub>, 这三个学生<sub>i</sub> **都**  $e_i$  买了  $e_j$  。 cf.(3-i)  
 あの五冊 本 この三人 学生 DOU 買う Asp

'あの五冊の本は、この三人の学生がそれぞれ買ったものだ(全部で5冊)。'

(15)では、「这三个学生」が dou 量化の対象となり、三人の学生がそれぞれ「1冊, 1冊, 3冊」もしくは「1冊, 2冊, 2冊」という割合で、「买了书」ということに加わり、合計して5冊になる。

- (16) 那五本书<sub>j</sub>, 这三个 学生<sub>i</sub> **都**  $e_i$  买了  $e_j$  。 cf.(3-ii)  
 あの五冊 本 この三人 学生 DOU 買う Asp

'あの五冊の本を、この三人の学生がそれぞれ買った(全部で15冊)。'

(15)に対して、(16)では、「那五本书」が dou 量化の対象となり、あの五冊の本がそれぞれ「这三个学生」によって買われることになり、実際5冊ではなく、合計15冊になる。

### 3.2. 観察2の分析

(12)の構造によると、(4)は(17)のようになり、(5)は(18)のようになる。

- (17) i. 那五本书<sub>j</sub>, 这三个 学生<sub>i</sub>  $e_i$  **会** [替 小明] **都** 买  $e_j$  。 cf.(4)  
 あの五冊 本 この三人 学生 Asp 小明のために DOU 買う

'あの五冊の本は、この三人の学生が、小明のために、全部買うだろう。'

- ii. 那五本书<sub>j</sub>, 这三个学生<sub>i</sub> 都会 [替 小明] 都 买  $e_j$ 。  
 '\*あの五冊の本は、これらの学生三人とも、小明のために、買うだろう。'

(17-ii)では、 $dou$  が  $\alpha$  の  $\theta$ -position を c-command していないため、(10)の違反となり、 $dou$  量化が阻止される。

- (18) i. 那五本书<sub>j</sub>, 这三个学生<sub>i</sub> 都  $e_i$  会 [替 小明] 买  $e_j$ 。 cf.(5)  
 あの五冊本 この三人 学生 DOU Asp 小明のために買う  
 '??あの五冊の本は、この三人の学生が小明のために全部買うだろう。'

- ii. 那五本书<sub>j</sub>, 这三个学生<sub>i</sub> 都  $e_i$  会 [替 小明] 买  $e_j$ 。  
 'あの五冊の本は、これらの学生三人とも、小明のために買うだろう。'

(18-ii)では、 $\alpha$  が  $dou$  を c-command しており、 $dou$  も  $\alpha$  の  $\theta$ -position を c-command しているため、(10)の違反とならず、 $dou$  量化が阻止されない。

### 3.3. 観察3の分析

Hsu (2010)では、中国語の非能格動詞、非対格動詞は、それぞれ(19a,b)のような構造をしているという前提がある。

- (19) a. 非能格動詞： [<sub>VP</sub> Agent  $v$  [V]]<sup>3</sup> [Hsu (2010): p.172, (31)]  
 例：游泳(泳ぐ)，笑(笑う)，工作(働く)等  
 b. 非対格動詞： [<sub>VP</sub>  $v$  [<sub>VP</sub> V Theme]]  
 例：到(着く)，沉(沈む)等

そして、hui(会)は、(20a)のような非能格動詞のときに能力解釈となり、(20b)のような非対格動詞のときに可能性解釈となると考えられている。

- (20) a. 非能格動詞： [<sub>VP</sub> Experiencer 会  $v$  [V]] [Hsu (2010): p.173, (33b)]  
 b. 非対格動詞： 会 [<sub>VP</sub>  $v$  [V]] [Hsu (2010): p.173, (33a)]

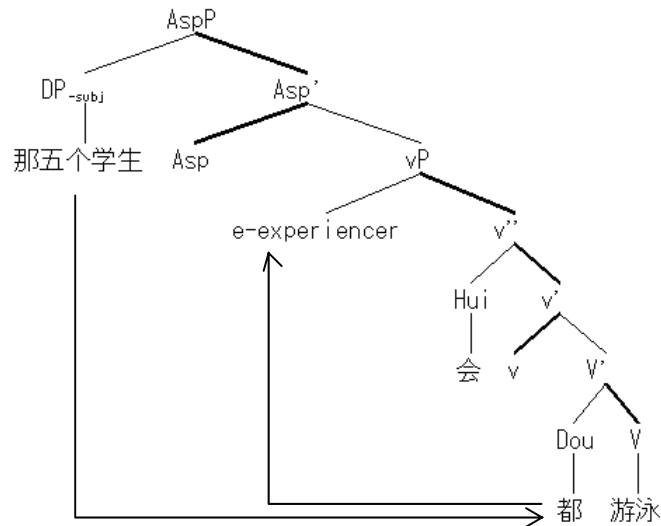
<sup>3</sup> 非能格動詞と非対格動詞の構造は、Adger (2003)によるという。

すると、能力解釈の場合には、次のような構造になり、*dou* が *vP* 節における  $\alpha$  (主語 DP) の  $\theta$ -position を *c-command* しておらず、(10)の後半の条件を満たさないことになる。

(21) 那五个学生会都游泳。 cf.(6b-ii)

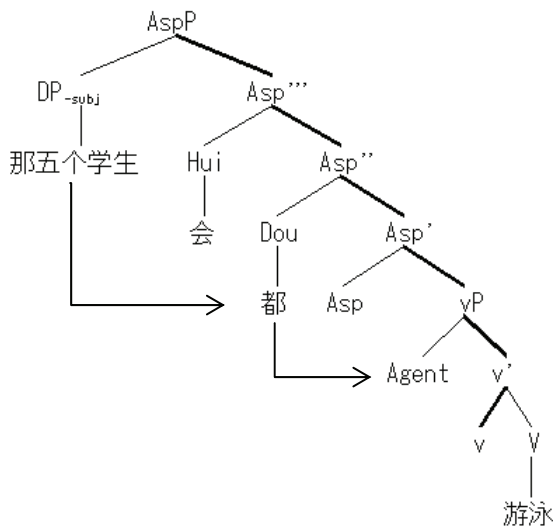
\*あの五人の学生はみんな水泳ができる。'

LF :



これに対して、可能性解釈の場合には、次のような構造になるので、(10)の条件を満たしている。

(22)



(22)の構造では、主語 DP が *dou* を *c-command* しており、*dou* も主語 DP の  $\theta$ -position を *c-command* しているため、(10)を満たすことになり、容認可能にな



る。

### 3.4. 観察4の分析

Hsu (2010)では、以下のba(把)構文とbei(被)構文の二つの構造を前提にして説明している。<sup>4,5</sup>

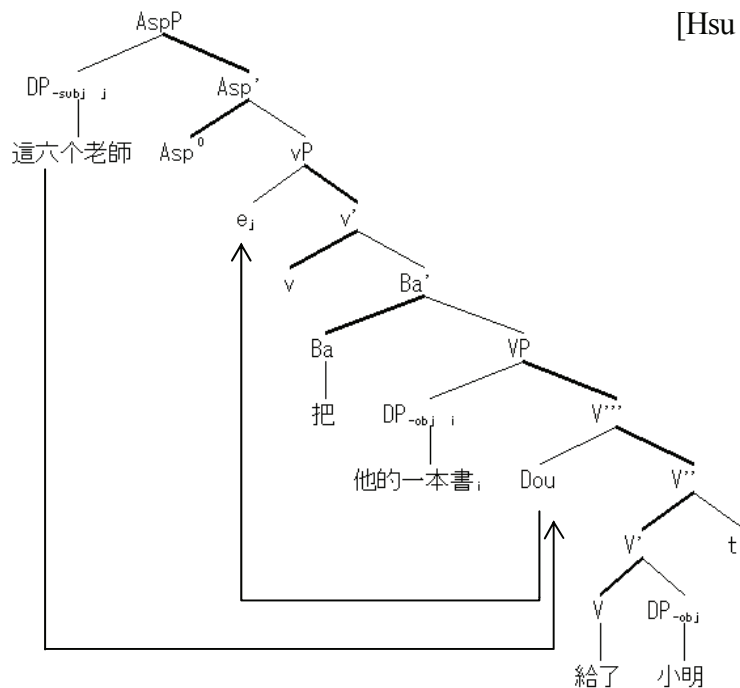
(23) [AspP DP<sub>-subj</sub> Asp<sup>0</sup> [<sub>VP</sub> e<sub>j</sub> 把 [<sub>VP</sub> DP<sub>-obj</sub> i [<sub>V'</sub> t<sub>i</sub> ]]]] [Hsu (2010): p.175, (38)]

(24) [AspP DP1<sub>i</sub> Asp<sup>0</sup> [<sub>VP</sub> [<sub>VP</sub> 被 [<sub>AspP'</sub> OP<sub>i</sub> [<sub>AspP</sub> DP2 Asp<sup>0</sup> [<sub>VP</sub> [<sub>VP</sub> V e<sub>i</sub> ]]]]]]]] [Hsu (2010): p.176, (41)]

(23)の構造を仮定すると、(8b)のba(把)構文の構造は(25)のように仮定できる。

(8) b. \*这六个老师<sub>j</sub> [把 他<sub>i</sub> 的 一 本 书] 都 给 了 小 明。  
 この六人 先生 BA 彼 de 一冊 本 DOU あげる Asp 小明

(25) [AspP DP<sub>-subj</sub> j Asp<sup>0</sup> [<sub>VP</sub> e<sub>j</sub> 把 [<sub>VP</sub> DP<sub>-obj</sub> i [<sub>V'</sub> 都 [<sub>V'</sub> t<sub>i</sub> ]]]]]] [Hsu (2010): p.176, (39)]



<sup>4</sup> ba(把)構文の構造は、Lin (2003, p.53)によるものであるという。

<sup>5</sup> bei(被)構文の構造は、吉村(2001, p.54)によるものであるという。

このように仮定すると、(10)の認可条件が満たされていないため、(8b)で dou 量化が不可能であることが説明できる。

一方、(9b)の bei(被)構文は、(26)のような構造であると仮定されている。

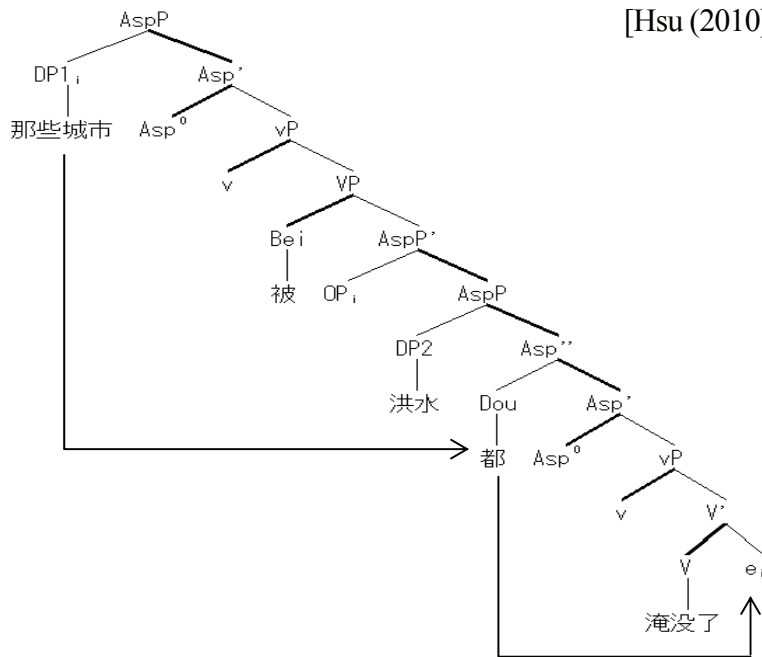
(9) b. 那些 城市 [被 洪水] 都 淹没了。

あれら 町 BEI 洪水 DOU 水没 Asp

'あれらの町は、洪水によってみな水没した。'

(26)  $[\text{AspP DP1}_i \text{ Asp}^0 [\text{vP}[\text{VP 被} [\text{AspP}' \text{ OP}_i [\text{AspP DP2 都 Asp}^0 [\text{vP} [\text{VP V } e_i ]]]]]]]]$

[Hsu (2010): p.176, (42b)]



この構造の場合は、(10)の違反にならず、実際、dou 量化が可能である。

#### 4. Hsu (2010)の分析の問題点

このように、Hsu (2010)では、2節の観察に対する説明として(10)が提案されているが、その分析にはいくつかの問題点がある。以下、その問題点を順に述べていく。

##### 4.1. 付加詞と助動詞によって阻止される主語 DP の dou 量化

Hsu (2010)では、(4), (5)は、(10)が原因で dou 量化が阻止されると考えられている。

- (4) 那五本书, 这三个 学生 会 [替 小明] 都 买 。 [Hsu (2010): p.163, (4a)]  
 あの五冊本 この三人 学生 Asp 小明のために DOU 買う
- i. 'あの五冊の本は, この三人の学生が小明のために, 全部買うだろう。'  
 ii. '\*あの五冊の本は, これらの学生三人とも, 小明のために, 買うだろう。'
- (5) 那五本书, 这三个 学生 都会 [替 小明] 买 。 [Hsu (2010): p.163, (4b)]  
 あの五冊 本 この三人 学生 DOU Asp 小明のために 買う
- i. '??あの五冊の本は, この三人の学生が小明のために全部買うだろう。'  
 ii. 'あの五冊の本は, これらの学生三人とも, 小明のために買うだろう。'

しかし, この阻止効果は付加詞と助動詞のどちらによるものか分からないので, それらを分けて考える必要がある。(27)のように, 助動詞 hui(会)だけで考えると, 主語 DP に対する阻止効果は見られない。

- (27) 那五本书, 这三个 学生 会 都 买 。 cf.(4)  
 あの五冊 本 この三人 学生 Asp DOU 買う
- i. 'あの五冊の本は, この三人の学生が全部買うだろう。'  
 ii. 'あの五冊の本は, これらの学生三人とも, 買うだろう。'  
那五本书, 这三个 学生 都会 买 。 cf.(5)  
 あの五冊 本 この三人 学生 DOU Asp 買う
- i. 'あの五冊の本は, この三人の学生が, 全部買うだろう。'  
 ii. 'あの五冊の本は, これらの学生三人とも, 買うだろう。'

また, (28), (29)のように, 付加詞の「替小明」だけで考えると, (4), (5)よりも阻止効果が軽減される。

- (28) 那五本书, 这三个 学生 [替 小明] 都 买了。 cf.(4)  
 あの五冊 本 この三人 学生 小明のために DOU 買う Asp
- i. 'あの五冊の本は, この三人の学生が小明のために, 全部買った。'  
 ii. '?あの五冊の本は, これらの学生三人とも, 小明のために, 買った。'
- (29) 那五本书, 这三个 学生 都 [替 小明] 买了。 cf.(5)  
 あの五冊 本 この三人 学生 DOU 小明のために 買う Asp

- i. 'あの五冊の本は、この三人の学生が小明のために、全部買った。'
- ii. 'あの五冊の本は、これらの学生三人とも、小明のために、買った。'

さらに、(4), (5)をベースに、dou と述語の間に付加詞節などを入れると、容認性が高くなる。

- (30) a. 那五本书, 这三个学生 会[VP替小明[VP 都 托人从香港[V 买来 e]]]  
 あの五冊本 この三人学生 Asp 小明のために DOU 人に頼む香港から 買って来る  
 'あの五冊の本は、この三人の学生が小明のために、みんな人に頼んで香港から買ってくる。'
- b. 那五本书, 这三个学生 会[VP替小明[VP 都 用空运从国外[V 买来 e]]]  
 あの五冊本 この三人学生 Asp 小明のために DOU エア便で海外から 買って来る  
 'あの五冊の本は、この三人の学生が小明のために、みんなエア便で海外から買ってくる。'
- c. 那五本书, 这三个学生 会[VP替小明[VP 都 不惜一切代价 [V 买来 e]]]  
 あの五冊本 この三人学生 Asp 小明のために DOU どんな手段を使っても 買って来る  
 'あの五冊の本は、この三人の学生が小明のために、みんなどんな手段を使っても買ってくる。'

同様に、(10)の違反になっているにもかかわらず、(31)は、容認可能な例である。

- (31) a. 张三, 这三位 老师 记得 中学的时候<sub>e<sub>i</sub></sub> 都 教 过 他 。  
 張三 この三人 先生 覚える 中学の時 DOU 教える Exp 彼  
 '張三は、この三人の先生が中学の時に、みんな彼を教えたことがあることを覚えている。'
- b. 张三, 这三位 老师 记得 替 李四 <sub>e<sub>i</sub></sub> 都 骂 过 他 。  
 張三 この三人 先生 覚える 李四のために DOU しかる Exp 彼  
 '張三は、この三人の先生がみんな、李四のために叱ったことがあることを覚えている。'

つまり、以上の観察は次のようにまとめられる。

- (32) a. 主語 DP と dou の間に介入する付加詞節や助動詞が複雑であればある

ほど、主語 DP の dou 量化の容認可能性が低下する。

- b. dou と述語の間に、付加詞節などが入ると、主語 DP に対する阻止効果が緩和される。

これは、(10)では説明不可能なものである。

#### 4.2. dou による助動詞 hui(会)の能力解釈の阻止効果

中国語の hui(会)には、能力解釈と可能性解釈がある。しかし、これが、Hsu (2010)の(20)の構造の違いによるものかどうかについては、独立の根拠が示されていない。

- (20) a. 非能格動詞： [<sub>VP</sub> Experiencer 会 v[V]] [Hsu (2010): p.173, (33b)]  
b. 非対格動詞： 会 [<sub>VP</sub> v[V]] [Hsu (2010): p.173, (33a)]

実は、(21)については、(10)とは独立の説明も可能である。Hsu (2010)の分析にもあるように、能力を表す場合の hui(会)は、「Experiencer」という  $\theta$  役割を付与するため、(20a)の hui(会)は、NP を項に取る二項動詞だと考えられる。さらに、中国語の場合、(33)のように、形態的に動詞と名詞の区別がはっきりしないため、「日语」も「说日语」も動詞の内項とみなすことにする。

- (33) a. 他们 会 [<sub>NP</sub> 日语] 。  
彼ら できる 日本語  
'彼らは日本語ができる。'  
b. 他们 会 [<sub>NP</sub> 说 日语] 。  
彼ら できる 話す 日本語  
'彼らは日本語を話すことができる。'

Cheng (1995)によると、dou は、通常 V, VP, Asp, AspP の Spec 位置に生起するもので、(34)のように、述部と外項の間に生起するのが普通である。

- (34) a. 他们 都 骑 马 骑 得 很 累 。 [Cheng (1995): p.210, (33)]  
彼ら DOU 乗る馬 乗る DE とても 疲れる  
'彼らはみんな馬に乗って、とても疲れている。'  
b. 他们 骑马 都 骑 得 很 累。

c. 他们骑马骑得都很累。

これに対して、(35)のように、dou が述部と内項との間に生起すると、格付与の隣接条件の違反になるので、容認不可能になる。

- (35) a. \*他们骑都马骑得很累。  
b. \*他们骑马骑都得很累。  
c. \*他们骑马骑得很都累。

したがって、(6b-ii)のように、dou が動詞hui(会)とその内項「游泳」との間に生起すること自体が不自然である。これは、認可条件(10)には関係がなく、格付与の隣接条件の違反によるものである。

- (6) b. 那五个学生会都游泳。 [Hsu (2010): p.173, (32)]  
ii. \*あの五人の学生はみんな水泳ができる。'

また、Hsu (2010)では、非対格動詞、hui(会)、dou の3つの要素が共起するとどうなるか、述べられていない。

- (19) b. 非対格動詞： [VP V [VP V Theme]]  
例：到(着く)、沉(沈む)等

(19b)のような構造を持つ非対格動詞 dao(到)と(20a)の可能性解釈の hui(会)と dou で作った(36b)は、容認不可能なはずであるが、実際は容認可能である。これは、Hsu (2010)の(10)の認可条件では説明できない。

- (36) a. 那五个学生<sub>i</sub>都会 [s e<sub>i</sub> 到 的]。  
あの五人 学生 DOU Asp 着く DE  
'あの五人の学生は、みんな着くだろう。'  
b. 那五个学生<sub>i</sub>会 [s e<sub>i</sub> 都 到 的]。  
あの五人 学生 Asp DOU 着く DE  
'あの五人の学生は、みんな着くだろう。'

このように、観察3は、(10)の認可条件を仮定せずとも説明可能である。ま

た, (10)で説明できない(36b)のような例も存在する。

#### 4.3. ba 構文と bei 構文における阻止効果の違い

Hsu (2010)は, ba(把)構文では阻止効果が見られるが, bei(被)構文では dou 量化の阻止効果が見られないと報告している。しかし, (37b)に示すように, bei(被)構文にも阻止効果を持つものがある。

(37) a. 这六个老师<sub>i</sub> 都 [被 他<sub>i</sub> 的 一个 学生] 骂 了 。

この六人 先生 DOU BEI 彼 DE 一人 学生しかる Asp

'この六人の先生は, みんなその先生の学生にしかられた。'

b. ??这六个老师<sub>i</sub> [被 他<sub>i</sub> 的 一个 学生] 都 骂 了 。

この六人 先生 BEI 彼 DE 一人 学生 DOU しかる Asp

さらに, ba(把), bei(被)に後続する DP を「小明」に変えると, 阻止効果が見られなくなる。

(38) a. 这六个老师 [把 小明] 都 骂 了 。

この六人 先生 BA 小明 DOU しかる Asp

'この六人の先生はみんな小明をしかつた。'

b. 这六个老师 [被 小明] 都 骂 了 。

この六人 先生 BEI 小明 DOU しかる Asp

'この六人の先生は, みんな小明にしかられた。'

この観察も, 上で示した(32a)の一例ということができる。

(32) a. 主語 DP と dou の間に介入する付加詞節や助動詞が複雑であればあるほど, 主語 DP の dou 量化の容認可能性が低下する。

このような観察は, (10)で説明することはできない。

#### 4.4. 主題 DP の dou 量化の多様性

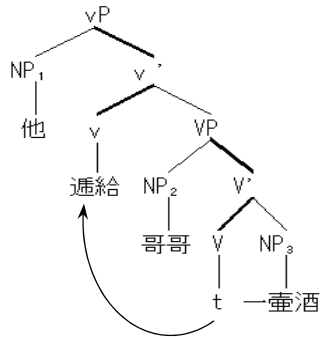
中国語の二重目的語構文を考える際に, Chomsky (1986)の CFC (complete functional complex)という概念に基づいて,  $v$  が存在しており,  $V$  が  $v$  に移動す

るという考え方があある。

- (39) a. 他 递给 哥哥 一壶酒。  
 彼 渡す 兄 一本 お酒

'彼は兄にお酒を一本渡した。'

b. LF :



しかし、中国語の構造は、いつでも(39b)のように、*v*を設定して、動詞の移動が起こると考えなければならないわけではない。同様に、主題 DP が必ずしも *vP* 節内部において、対応する  $\theta$  位置があるということでもない。(40)のように、*vP* 節内部の目的語位置が既に占められている主題文が許されていても、(41a,b)のような主題 DP の *dou* 量化が許されない。

- (40) 那五本书, 这个学生 会替 小明 买 这本。  
 あの五冊 本 この学生 Asp 小明のために 買う この一冊

'あの五冊の本, この学生は小明のためにこの一冊を買うだろう。'

- (41) a. \*那五本书, 这个学生 都会替 小明 买 这本。  
 あの五冊 本 この 学生 DOU Asp 小明のために 買う この一冊

- b. \*那五本书, 这个学生 会替 小明 都 买 这本。  
 あの五冊 本 この学生 Asp 小明のために DOU 買う この一冊

(42), (43)の主題文の場合についても、同じことが言える。

- (42) a. 那 五種 水果, 这个学生 喜欢 吃 香蕉。  
 あの五種類 果物 この学生 好きだ 食べる バナナ

'あの五種類の果物で, この学生はバナナを食べるのが好きだ。'



- b. \*那五种 水果, 这个学生 都 喜欢 吃 香蕉。  
 あの五種類 果物 この学生 DOU 好きだ 食べる バナナ
- c. \*那五种 水果, 这个学生 喜欢 都 吃 香蕉。  
 あの五種類 果物 この学生 好きだ DOU 食べる バナナ

- (43) a. 他们 俩, 专门 小王 先 来, 小李 后 到。  
 彼ら 二人 専ら 王さん 先に来る 李さん 後で 来る  
 '彼ら二人は、いつも王さんが先に来て、その後李さんが来るのだ。'
- b. \*他们 俩, 都 专门 小王 先 来, 小李 后 到。  
 c. ??他们 俩, 专门 都 小王 先 来, 小李 后 到。  
 d. \*他们 俩, 专门 小王 都 先 来, 小李 后 到。  
 e. \*他们 俩, 专门 小王 先 来, 小李 都 后 到。

また、(44)と(45)のように、述部のわずかな差で容認性が異なる例もある。

- (44) a. \*那五个 学生, 这位老师 知道 都 e 吃掉 了 那个苹果。  
 あの五人 学生 この先生 知る DOU 食べ終わる Asp あのリンゴ
- b. 那五个 学生, 这位老师 知道 都 e 吃 了 那个苹果。  
 あの五人 学生 この先生 知る DOU 食べる Asp あのリンゴ  
 'あの五人の学生は、この先生が、全員あのリンゴを食べたということを知っている。'
- (45) a. \*那五个 学生, 这位老师 知道 都 e 是 夫妻。  
 あの五人 学生 この先生 知る DOU Copular 夫婦
- b. 那五个 学生, 这位老师 知道 都 e 是 朋友。  
 あの五人 学生 この先生 知る DOU Copular 友達  
 'あの五人の学生が全員友達であることを、この先生は知っている。'

(44)と(45)のような違いは、Hsu (2010)の仕組みでは、到底、説明できないものである。

## 5. まとめ

Hsu (2010)の分析の中心となるのは、(46)の予測である。

- (46) a.  $vP$  節内において、主語 DP の  $\theta$ -position が *dou* によって c-command されていなければ、主語 DP は、*dou* による量化ができない。
- b.  $vP$  節内において、主語 DP の  $\theta$ -position が *dou* によって c-command されていれば、主語 DP は、*dou* による量化ができる。
- c.  $vP$  節内において、主題 DP は、必ず *dou* によって c-command される  $\theta$ -position をもつので、主題 DP は、*dou* による量化ができる。

しかし、本論文では、この分析に対して、以下のような反例があることを示した。

- (47) a. (31), (36b)で示されたように、 $vP$  節内において、主語 DP の  $\theta$ -position が *dou* によって、c-command されていなくても、主語 DP が、*dou* による量化ができる例がある。
- b. (41), (42b,c), (43b,c,d,e)で示されたように、 $vP$  節内において、主題 DP の  $\theta$ -position がなく、*dou* による量化ができない例がある。
- c. (44a), (45a)で示されたように、 $vP$  節内において、主題 DP の  $\theta$ -position があっても、*dou* による量化ができない例がある。

さらに、本論文では、次のような観察を加えた。

- (48) a. 主語 DP と *dou* の間に介入する付加詞節や助動詞が複雑であればあるほど、主語 DP の *dou* 量化の容認可能性が低下する。
- b. *dou* と述語の間に、付加詞節などが入ると、主語 DP に対する阻止効果が緩和される。
- c.  $vP$  節内に主題 DP の対応する  $\theta$ -position がなければ、主題の *dou* 量化ができない。
- d.  $vP$  節内に主題 DP の対応する  $\theta$ -position があっても、主題の *dou* 量化ができない場合もある。

今後の分析においては、このような現象も説明の対象として考慮するべきであると考えている。

## 謝辞

本稿の執筆にあたり、丁寧なご指導をいただいた九州大学言語学研究室の上山あゆみ先生、原稿の校正を引き受けていただいた、九州大学の市原佳子氏に、厚く御礼申し上げたい。また、匿名査読者の方から、論旨の不明瞭な点をはじめ、貴重なコメントやご助言を数多くいただいた。ここに記して感謝を申し上げたい。無論、本稿の不備や誤りは、すべて筆者の責任である。

## 参考文献

- Adger, David (2003) *Core Syntax: A Minimalist Approach*. Oxford: Oxford University Press.
- Aoun, Joseph and Li, Y.-H. Audrey (1993). *Syntax of scope*. Cambridge: MIT Press.
- Cheng, Lisa L-S (1995) On *dou*-quantification. *Journal of East Asian Linguistics* 4: 197-234.
- Chomsky, Noam (1986) *Barriers*. Cambridge, MA and London: MIT Press.
- Hsu, Pei-Ling (2010) The Licensing Condition on *Dou*-Quantification in Mandarin Chinese. *Chuugokugogaku* 257:161-180.
- Hsyu, Shu-ing (1995) *The Syntax of Focus and Topic in Mandarin Chinese*. Unpublished doctoral dissertation, University of Southern California, Los Angeles.
- Huang, C.-T. James (1982) *Logical Relation in Chinese and the theory of Grammar*. Doctoral dissertation, Cambridge: MIT Press.
- Huang, Shi-Zhe (1996) *Quantification and Predication in Mandarin Chinese: A Case Study of Dou*. Unpublished doctoral dissertation, University of Pennsylvania, Philadelphia.
- Lee, Thomas (1986) *Studies on quantification in Chinese*. Unpublished doctoral dissertation, University of California, Los Angeles.
- Li, Charles N. and Sandra A. Thompson (1981) *Mandarin Chinese: A Functional Reference Grammar*. Berkeley: University of California Press.
- Lin, Hua (2000) *The Syntactic Structure of BA construction in Mandarin Chinese*. Unpublished master's thesis, Kyushu University.
- Lin, Jo-Wang (1998) Distributivity in Chinese and Its Implications. *Natural Language Semantics* 6: 201-243.
- 黄瓚辉 (2004) 「量化副词“都”与句子的焦点结构」博士论文, 北京大学.
- 吉村めぐみ (2001) 「現代中国語受動文の生成文法的研究—空演算子移動分析の可能性」修士論文, 九州大学.

## The Licensing Condition on *Dou*-Quantification in Mandarin Chinese

WANG Qing  
(Kyushu University)

Hsu (2010) proposes the following syntactic licensing condition with respect to the *dou*-quantification in Mandarin Chinese: *dou*-quantification is possible iff a chain  $\langle \alpha_i, dou_i, e_i \rangle$  is formed, in which  $\alpha_i$  c-commands *dou* and *dou* c-commands  $e_i$ , which is an empty category coindexed with  $\alpha_i$  and contained in the vP internal position. This paper argues against Hsu (2010) by showing that some of the observations put forth in Hsu (2010) are inadequate: (i) *dou*-quantification over the subject DP is sometimes possible in spite of the fact that *dou* does not c-command the trace position of the subject DP; (ii) *dou*-quantification over a topicalized DP becomes impossible when the topicalized DP does not have a  $\theta$ -position in vP; (iii) *dou*-quantification over a topicalized DP is sometimes impossible in spite of the fact that it has a coindexed empty category within vP.

(初稿受理日 2011年2月28日 最終稿受理日 2011年7月3日)